

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Recurrence rates of treated basal cell carcinomas. Part 4: X-ray therapy	
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌の再発率。パート4：放射線療法	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ18-4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	1624628	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Journal of Dermatologic Surgery and Oncology	
	雑誌 ID		
	巻	18	
	号	7	
	ページ	549-554	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
発行年月	1992		
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Silverman M	Department of Dermatology, New York University School of Medicine
	その他著者 1	Kopf A	
	その他著者 2	Gladstein A	
	その他著者 3	Bart R	
	その他著者 4	Grin C	
	その他著者 5	Levenstein M	
	その他著者 6		
その他著者 7			

一次研究の 8項目	目的	放射線治療後の基底細胞癌の再発に關与する因子を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	米国の大学病院	
	対象者	「標準的方法」で初回放射線治療を実施した基底細胞癌 862 例（1955-82）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（3）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず（3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（22）	
	介入（要因曝露）	放射線療法（X線照射）	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	5年再発率	1.主要 2.副次 3.その他（1）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
主な結果	症例全体の5年再発率は7.4%。再発症例211例に対して行った場合の5年再々発率は9.5%であり、有意差はみられなかった。比例ハザードモデルによる多変量解析では、腫瘍径のみが独立した有意な再発予測因子であった。頭部で腫瘍径10mm未満の場合の5年再発率は4.4%、10mm以上の場合は9.5%であった。治療者側による整容効果の評価として、goodもしくはexcellent判定は63%で、C&Eの91%、外科的切除の84%よりも劣っていた。		
結論	放射線療法は頭頸部の症例であっても10mm未満であれば有効性は高い。手術困難な高齢者などには適用しやすい。		
備考			
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV） ニューヨーク大学による一連の報告の1つである。症例数が多くフォロー期間も長いいため、再発危険因子のデータとしても信頼度は非常に高い。	